



スイッチの設置

スイッチの初期設定、スイッチのIPアドレスの割り当て、および電源情報については、Cisco.comにあるスイッチのクイック スタート ガイドを参照してください。

この章の内容は、次のとおりです。

- [インストール作業](#) (1 ページ)
- [出荷ボックスの内容](#) (2 ページ)
- [スペアアクセサリキット](#) (4 ページ)
- [スイッチの開梱](#) (4 ページ)
- [システムアースの確立](#) (5 ページ)
- [スイッチの設置](#) (8 ページ)

インストール作業

設置場所を準備したら、次のタスクに従ってスイッチを設置します。

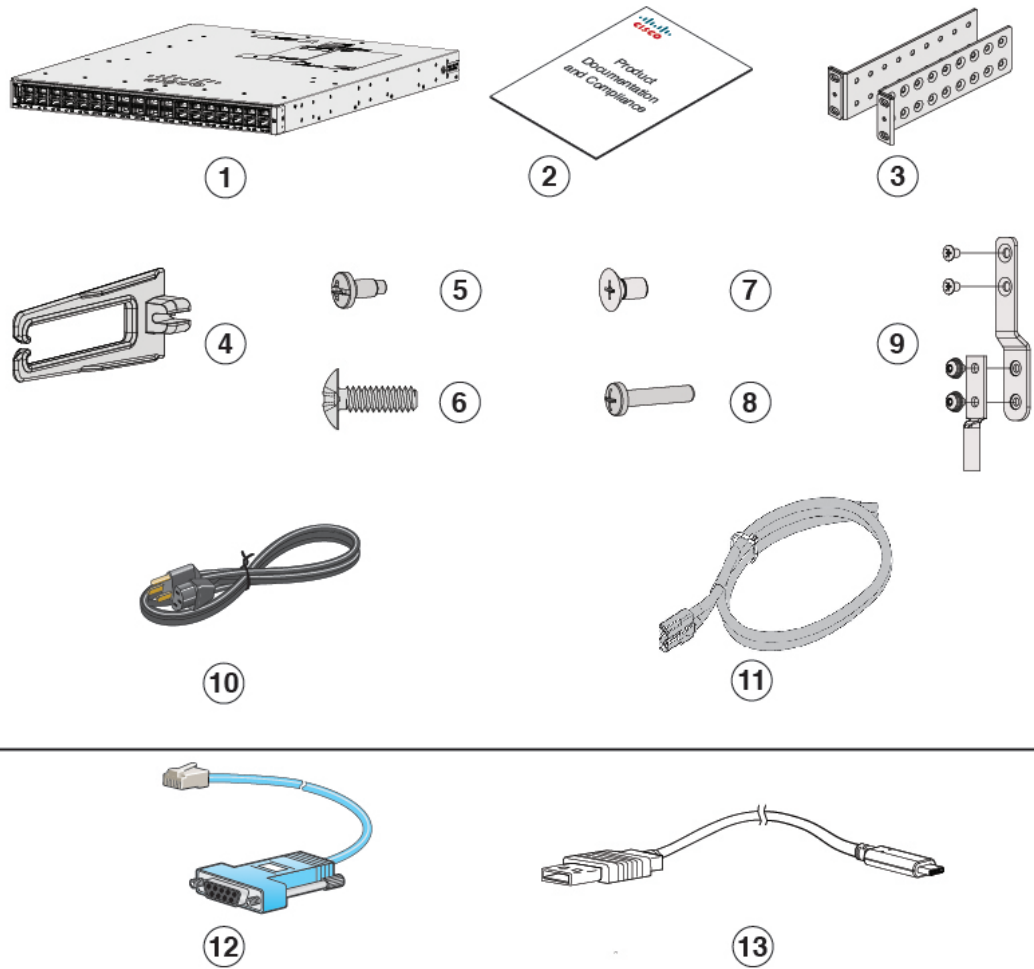
タスク	説明
スイッチの開梱	梱包材からスイッチを取り出します。 (注) シャーシを移動する必要がある場合は、梱包材を後で使用できるように保管しておいてください。
スイッチの設置	スイッチを設置します。
システムのアース接続手順	建物のアースからシャーシのシステムアースポイントに、システムアース線を接続します。
電源モジュールの取り付け	スイッチと同時に注文された電源モジュールはスイッチに取り付け済みです。別に注文した場合は、電源装置を取り付けてください。

タスク	説明
ファンの取り付け	ファンモジュールスロットにファンモジュールを取り付けます。
シャーシとモジュールのネットワークへの接続	シャーシの各種ポートをネットワークに接続する必要があります。この手順は、ネットワークインターフェイスケーブルをポートに接続するだけの場合や、何らかのトランシーバをポートに取り付けてからネットワークインターフェイスケーブルをトランシーバに接続する場合があります。
シャーシの電源投入	ネットワークのケーブル接続を行い、システムアースが接続されていることを確認した後、電源ユニットをオンにします。システムの電源が投入され、一連の組み込み診断が実行されます。

出荷ボックスの内容

出荷ボックスには、注文したスイッチモデルと設置に必要なその他のコンポーネントが入っています。一部のコンポーネントは、注文によって任意選択できます。

図 1 : Cisco Catalyst 9500X シリーズスイッチの出荷ボックスで送付されるコンポーネント



1	Cisco Catalyst 9500X シリーズスイッチ (電源モジュールとファンモジュールは示されていません)	8	M4 x 20mm プラスなベネジ (黒色) X 1
2	製品マニュアルおよび準拠マニュアル	9	アースラグおよび M4.0 x 6 mm ネジ X 4 (なベネジ X 2、皿ネジ X 2)
3	19 インチ用マウントブラケット X 2	10	(オプション) AC 電源コード ¹
4	ケーブルガイド	11	(オプション) DC 電源コードこの ²
5	0.50 インチ長の No.12 プラスなベネジ X 4	12	(オプション) RJ-45 コンソールケーブル ³
6	0.625 インチ長の No.10 プラスなベネジ X 4	13	(オプション) USB コンソールケーブル ⁴
7	M4 x 6mm プラス皿ネジ X 12	-	-

357731

- 1 この商品は注文可能です。必要に応じて AC コードのタイプを選択できます。
- 2 この商品は注文可能です。
- 3 この商品は注文可能です。
- 4 この商品は注文可能です。

スペアアクセサリキット

次の表では、さまざまなスイッチモデルでサポートされるスペアアクセサリキットについて説明します。

表 1: Cisco Catalyst 9500X シリーズスイッチのスペアアクセサリキットおよびラックマウントキット

部品番号	説明	サポートされるスイッチ
C9500X-ACCKIT-19I=	Cisco Catalyst 9500X シリーズスイッチのアクセサリキット (19 インチラックマウント)	C9500X-28C8D C9500X-60L4D
C9500X-ACCKIT-23I=	Cisco Catalyst 9500X シリーズスイッチのアクセサリキット (23 インチラックマウント)	
C9500X-4PTH-KIT=	Cisco Catalyst 9500X シリーズスイッチ用の延長レールとブラケット (4 点マウント)	

スイッチの開梱



- (注) スイッチを取り出したあと、梱包用の箱は廃棄しないでください。梱包用の箱は平らにしてパレットとともに保管してください。スイッチを移動したり輸送したりする場合に、この箱が必要になります。

アクセサリキットの内容を確認します。アクセサリキットには次のものが入っています。

- アース ラグおよび使い捨ての静電気防止用リストストラップ。
- 注文したオプション機器 (コンソール ケーブル、トランシーバ、特殊コネクタなど)。
- ブランク カバーは、シャーシの電源装置スロット取り付けられています。

システムアースの確立

ここでは、システムアースをスイッチに接続する手順を説明します。



注意 3P AC プラグ（アース付き）だけを使用してシャーシを設置すると、装置に問題が発生したり、データが破損したりする危険性が、3PACプラグ（アース付き）とシステムアースの両方を使用して適切に設置された場合よりもはるかに高くなります。

システムアースにより、EMI シールド要件に対するアースや、モジュールにある低電圧電源装置（DC-DC コンバータ）のアースが強化されます。シャーシのシステムアースについては、次の注意事項に従う必要があります。

- システムアースは、すでに電力アース接続が確立されているその他のラックまたはシステムに接続する必要があります。FXSモジュールが取り付けられている場合、またはこの装置が米国または欧州のセントラルオフィスに取り付けられている場合は、システムアース接続が必須となります。
- システムアース接続と電源アース接続の両方をアースにつなぐ必要があります。FXSモジュールが取り付けられている場合、またはこの装置が米国または欧州のセントラルオフィスに取り付けられている場合は、システムアース接続が必須となります。
- DC 入力電源装置を使用する場合は、電源からの DC 電源ケーブルを DC PEM に接続する前にシステムアースを取り付ける必要があります。システムアースを接続する前には、シャーシの電源をオフにしてください。



(注) すべてのケースにおいて、アース接続の方法は、National Electric Code (NEC) の第 250 条に定める要件またはその地域の法令に準拠する必要があります。シャーシからラックアースまたは共通ボンディング網 (CBN) に直接アース接続する場合、6 AWG アース線を使用することを推奨します。装置ラックも 6 AWG アース線を使用して、CBN に接続する必要があります。



(注) システムアースは、DC 入力電源装置が搭載されたシャーシの主要な保護アースとして機能します。これらのシャーシの DC 入力電源装置には、個別のアースはありません。

必要な工具と部品

システムアースを接続するには、次の工具と部品が必要です。

- アースラグ：システムに付属の 2 穴ラグコネクタを使用する場合、アース線は 6 AWG のみにする必要があります。それ以外の場合は、サポート対象のクローズドループリングコネクタを 8 - 14 AWG 線に使用する必要があります。

- アース用ネジ：2本の M4.0 x 6mm プラスなベネジ。アクセサリ キットに同梱されています。
- アース線：アクセサリキットには同梱されていません。アース線のサイズは、地域および国内の設置要件に従ってください。米国に設置する場合は、AC 電源システムに 14 AWG 銅線を使用する必要があります。一般に入手可能な 8 ~ 24 AWG 線を推奨します。930 W 電源モジュールを使用する DC 電源システムには 12 AWG 線が必要で、1500 W 電源モジュールには 8 AWG 線が必要です。アース線の長さは、スイッチとアース設備の間の距離によって決まります。
- No. 1 プラス ドライバ。
- アース線をアース ラグに取り付ける圧着工具。
- アース線の絶縁体をはがすワイヤ ストリッパ。

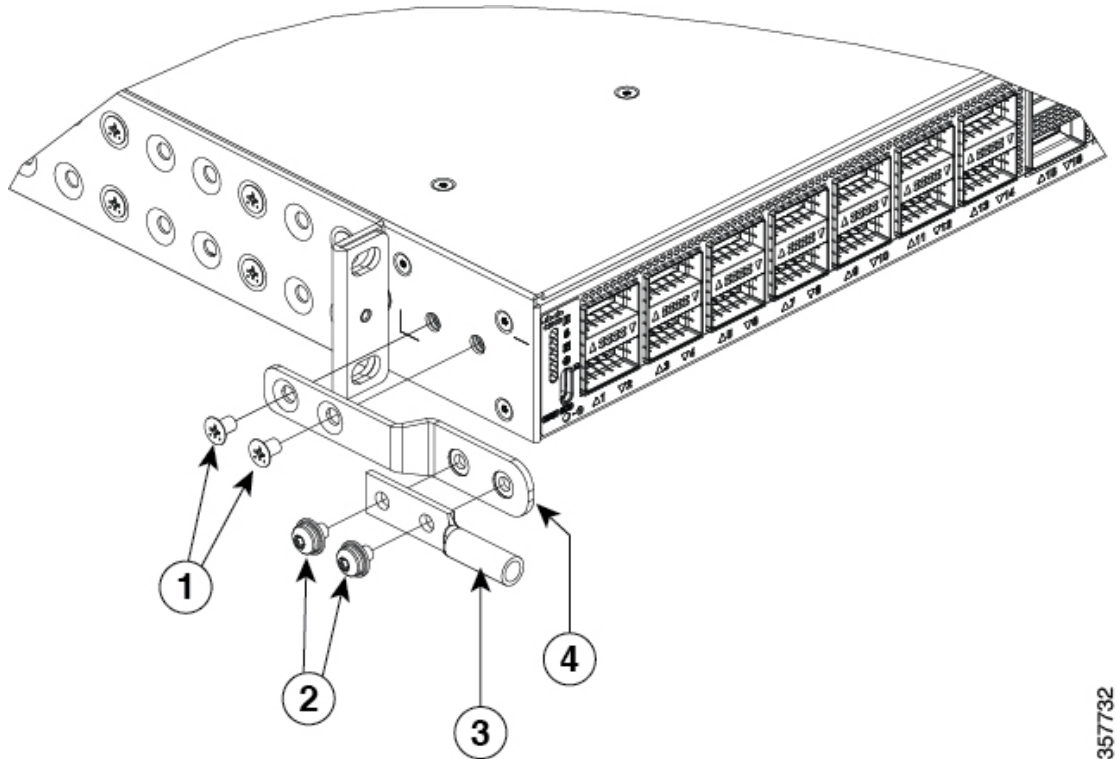
システムのアース接続手順

シャーシのアースを確立するには、シャーシのアース ラグからラックにアース ケーブルを接続する必要があります。

手順

- ステップ 1** ワイヤ ストリッパを使用して、アース線の端から 0.75 インチ (19 mm) ほど、被膜をはがします。
- ステップ 2** アース線の被覆をはぎとった端をアース ラグの開口端に挿入します。
- ステップ 3** アース線をアース ラグのバレルに圧着します。アース線がアース ラグに確実に接続されていることを確認します。
- ステップ 4** スイッチのアースパッドの位置にアース線のラグを合わせて、金属同士がしっかり接触するようにします。
アースラグは、シャーシの左側または右側に取り付けることができます。C9500X スイッチのアースパッドはシャーシの両側面にあります。
- ステップ 5** ラグをシャーシに固定する前に、アースラグおよびアース線が、その他のスイッチハードウェアまたはラック機器に干渉しないことを確認します。2本の M4 x 6mm 皿ネジを使用して、アースブラケットとラグをシャーシに固定します。

図 2: アースラグの C9500X スイッチへの取り付け

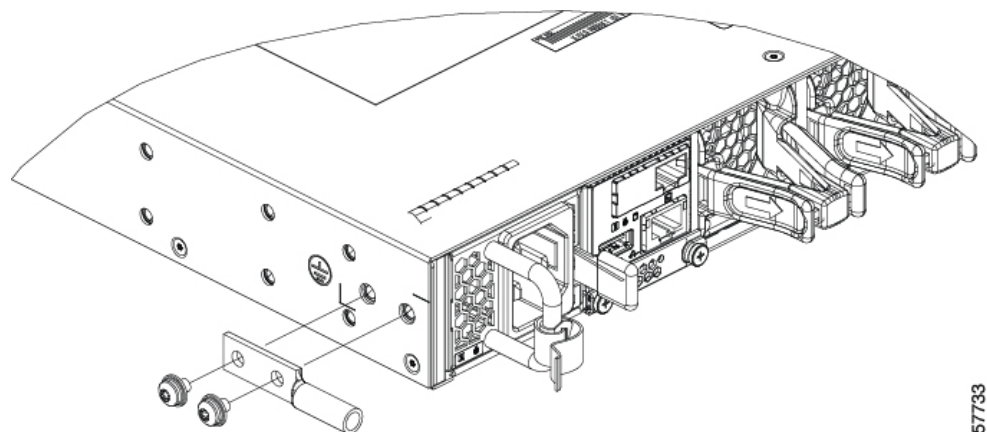


357732

1	M4 x 6mm 皿ネジ	3	アースラグ
2	M4 X 6 mm なべネジ	4	アースブラケット

(注) ラック、その他のスイッチハードウェア、またはラック機器との干渉がない場合は、アースブラケットを使用せずに、ラグをシャーシに直接取り付けることができます。

図 3: アースブラケットを使用しないラグの取り付け



357733

ステップ6 アース線のもう一方の端にリング型ラグを取り付け、これをネジでラックに固定します。

スイッチの設置

ラックへの設置

- Network Equipment Building System (NEBS) を設置する場合は、4支柱ラックマウントキットを使用します。フロントマウントおよびリアマウントストリップの間で測定されるラックの奥行きは 24.7 インチから 39.75 インチの間である必要があります。
- スイッチを設置する前に、必ず『Regulatory Compliance and Safety Information (RCSI)』をお読みください。
- 19 インチ ラック以外のラックにスイッチを設置する場合は、スイッチの付属品ではないブラケットキットが必要です。



警告 ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

- ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- ラックに複数の装置を設置する場合は、最も重い装置を一番下に設置して、下から順番に取り付けます。
- ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守したりしてください。

ステートメント 1006

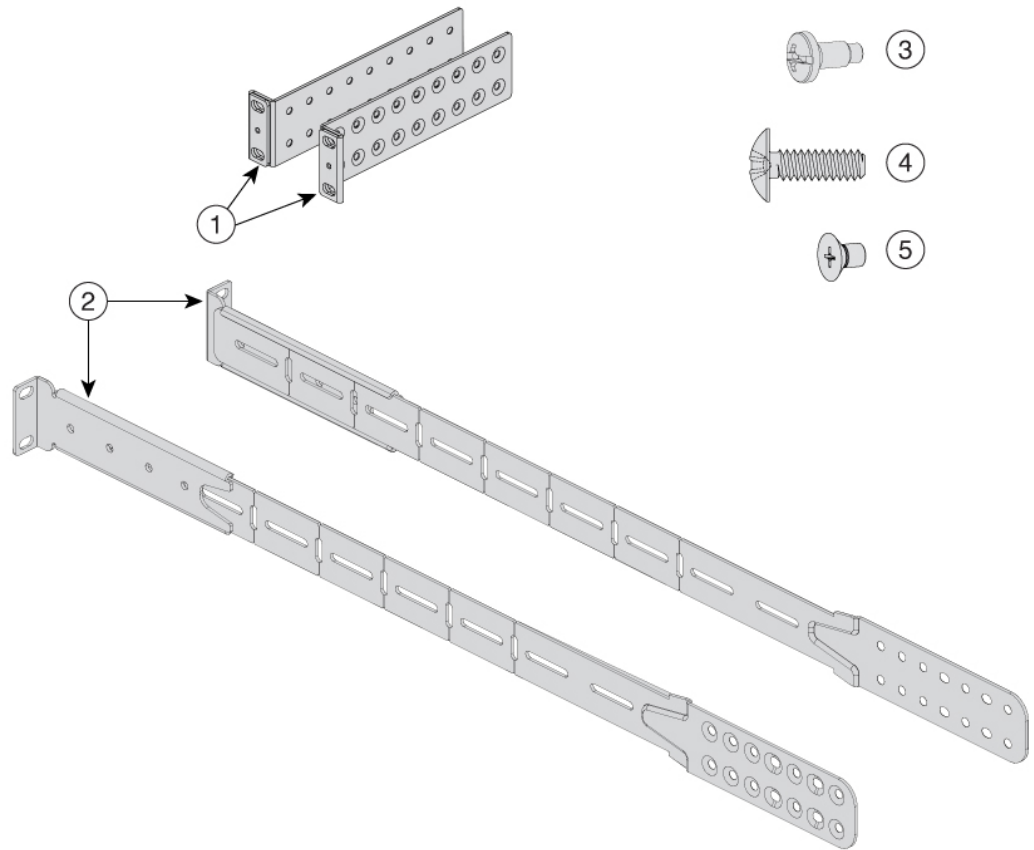


警告 感電および火災のリスクを軽減するため、装置を電気回路に接続するときに、配線が過負荷にならないように注意してください。

ステートメント 1018

図 4: Cisco Catalyst 9500X シリーズ スイッチ用 4 支柱ラックマウントキット

次の図に、Cisco Catalyst 9500X シリーズ スイッチの 4 支柱ラックマウントキットを示します。オプションのブラケットは、シスコの営業担当者に発注できます。

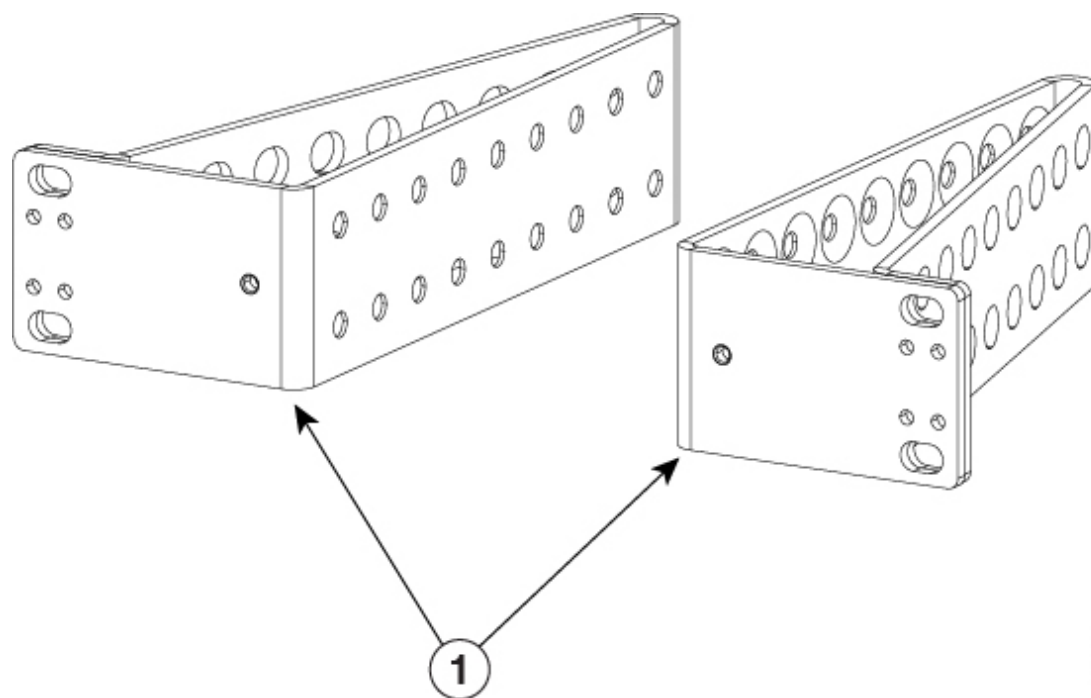


471183

1	19 インチブラケット X 2	4	0.625 インチ長の No.10 プラスなベネジ X 8
2	4 点マウント用延長レールおよびブラケット	5	M4.0 x 6mm プラス皿ネジ X 24
3	0.50 インチ長の No.12 プラスなベネジ X 8	-	-

図 5: Cisco Catalyst 9500X シリーズスイッチ用 23 インチラックマウントキット

次の図に、Cisco Catalyst 9500X シリーズスイッチのオプションの 23 インチラックマウントキットを示します。キットは、シスコの営業担当者に発注できます。



357737

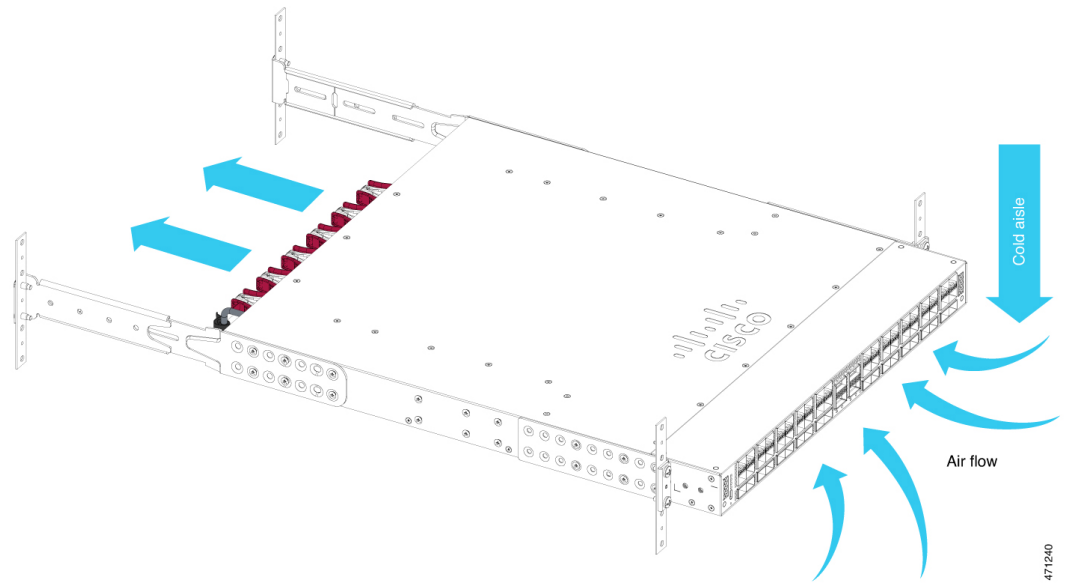
1	23 インチ ラック マウント ブラケット
---	-----------------------

ラックマウント ブラケットの取り付け

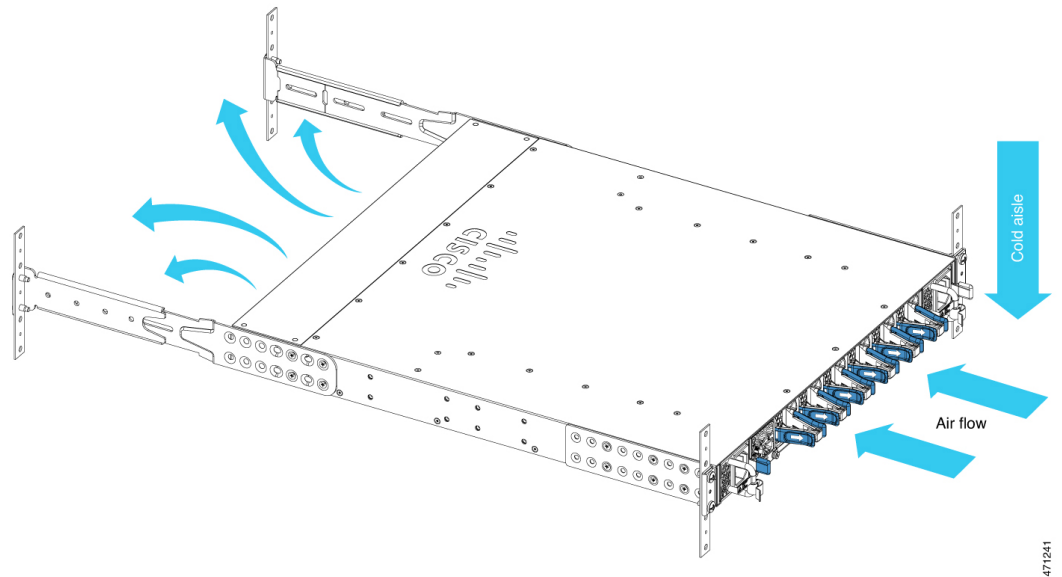
始める前に

スイッチのどちらの端をサイトのコールドアイルに配置するかを決定します。

- スイッチが前面から背面へのエアフローをサポートしている場合（C9500X-FAN-IU-R ファンモジュール）、ポートがコールドアイルに位置するようにスイッチを配置します。



- スイッチが前面から背面へのエアフロー（C9500X-FAN-1U-F ファンモジュール）をサポートしている場合は、ファンと電源モジュールがコールドアイルに配置されるようにスイッチを配置します。



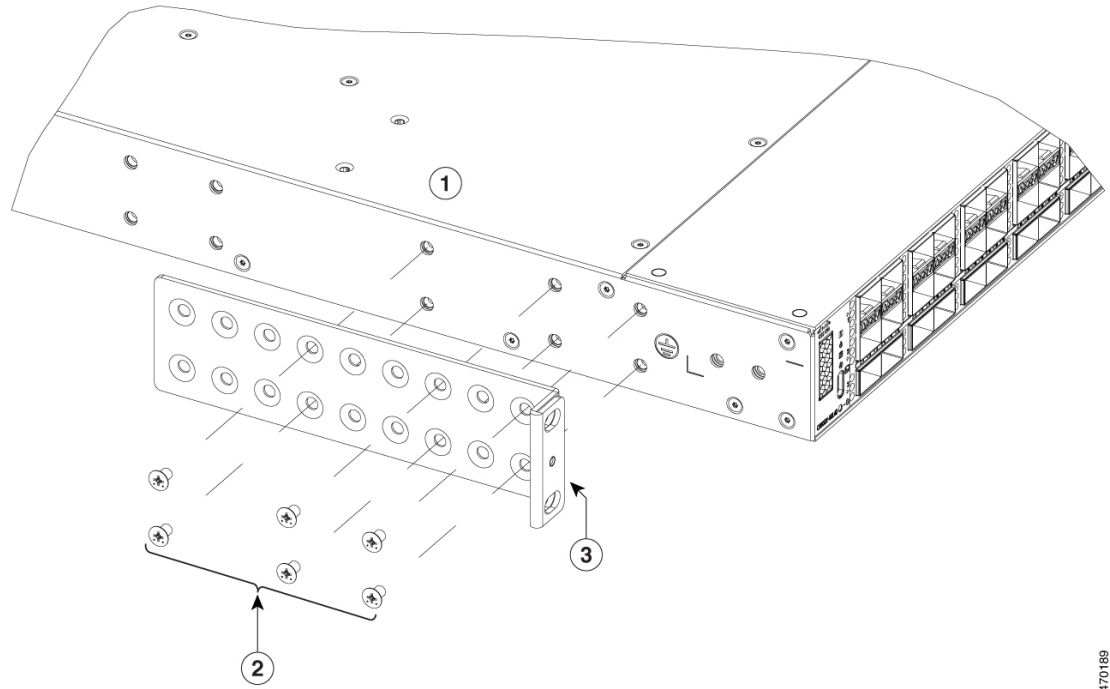
手順

ステップ1 スイッチへのラックマウントブラケットの取り付け。

M4.0x6mm プラス皿ネジを使用して、ブラケットの長い側をスイッチの前面、中央、または背面の取り付け位置の両側に取り付けます。

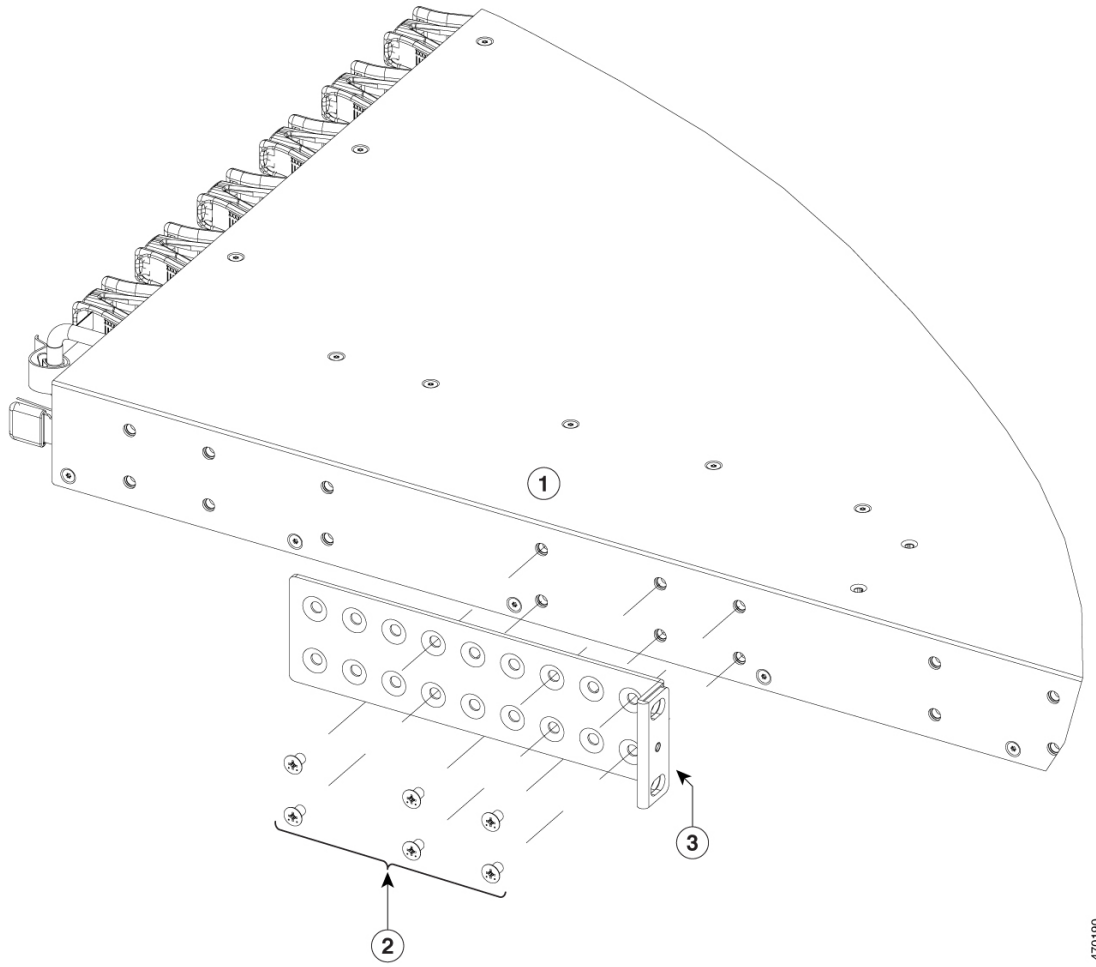
図 6: ラックマウントブラケットの前面取り付け位置

Cisco Catalyst 9500X シリーズスイッチでは、6本のネジを使用してブラケットをスイッチの片側に取り付けます。



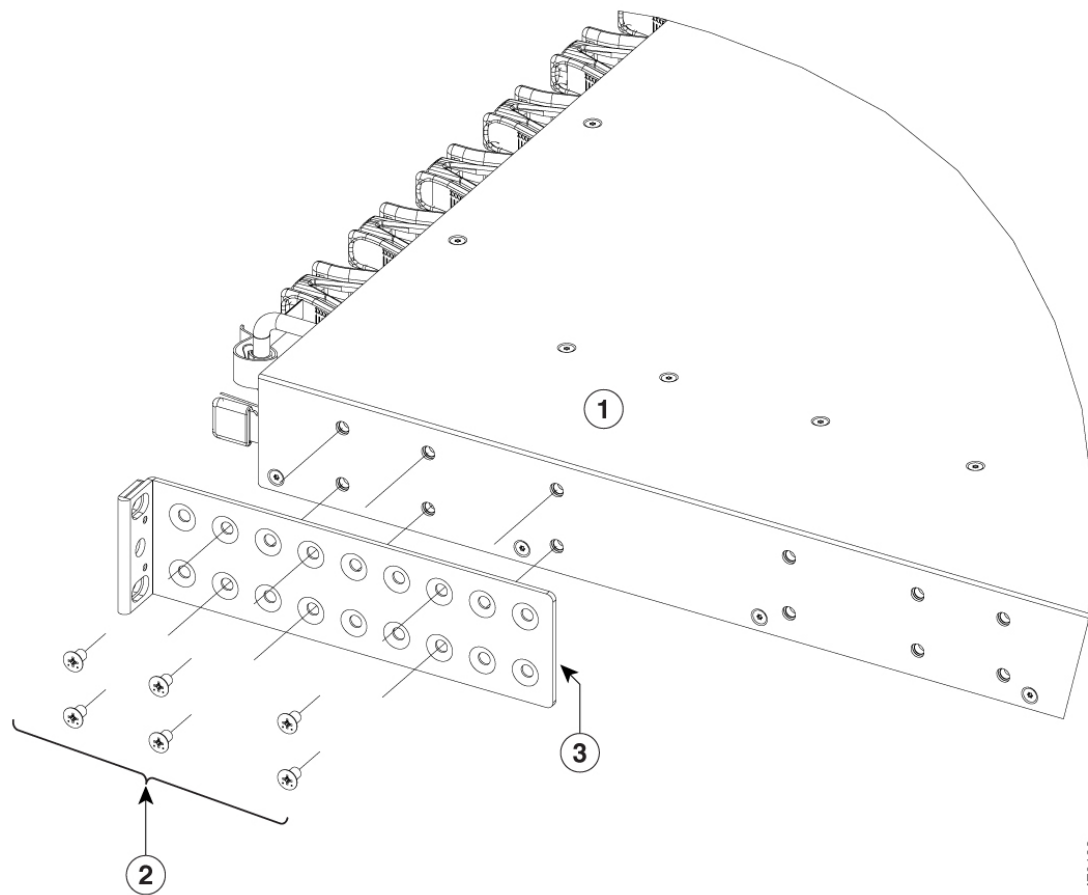
470189

図 7:ラックマウントブラケットの中間取り付け位置



470190

図 8: ラックマウントブラケットの背面取り付け位置

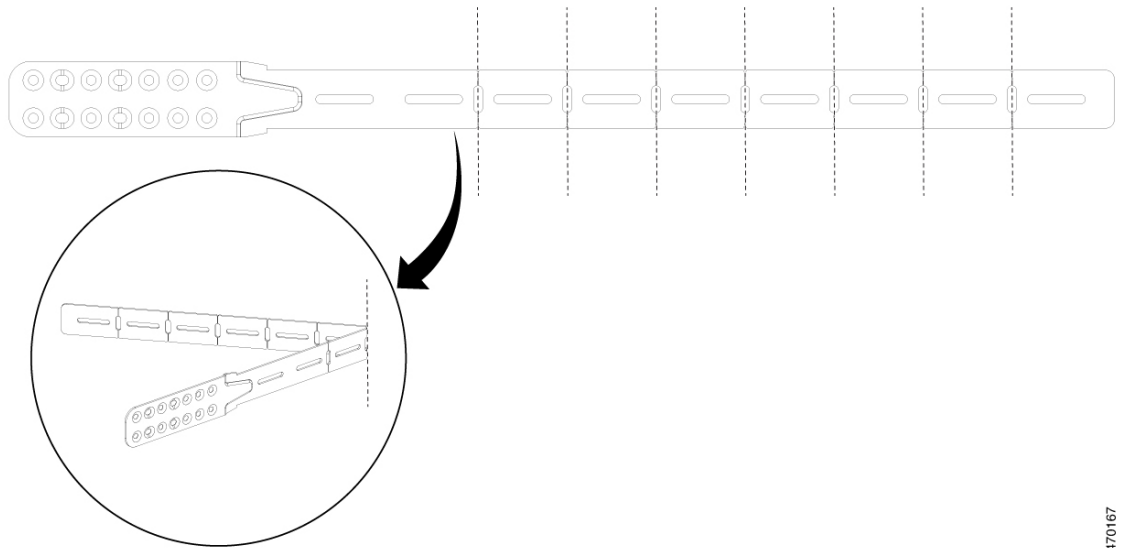


470188

1	Cisco Catalyst 9500X シリーズ スイッチ	3	19 インチ用マウントブラケット
2	M4 x 6mm プラス皿ネジ	-	-

ステップ 2 提供される延長レールは、必要なサイズよりも長い場合があります。延長レールを必要な長さ
にトリムするには、指定されたマークに沿って延長レールを曲げ、カットします。

図 9: 延長レールを必要な長さに曲げてカットします

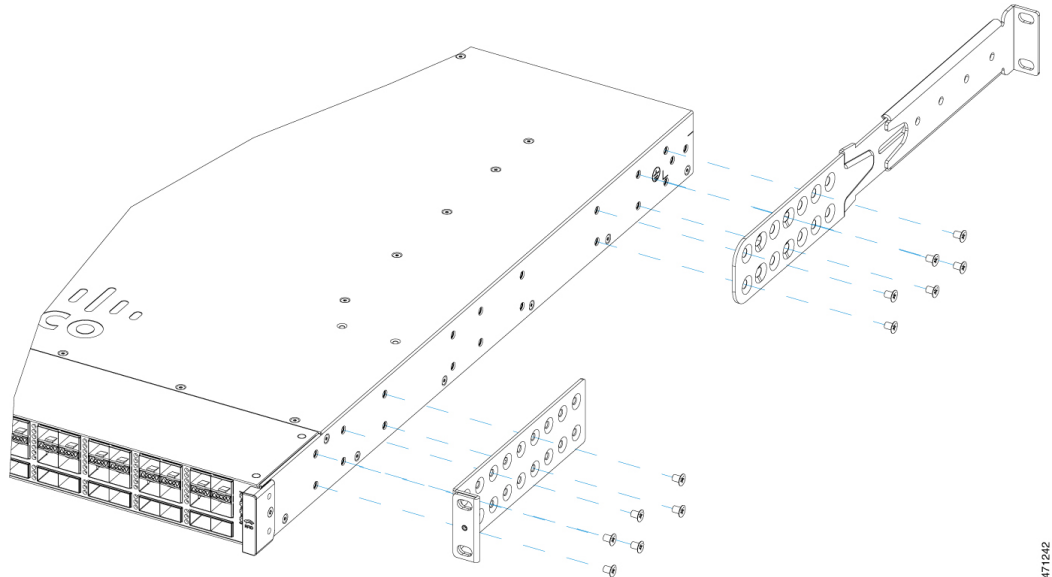


470167

ステップ 3 a) スイッチポートがコールドアイル（前面から背面へのエアフロー）にある場合は、プラス小ネジを使用してブラケットと延長レールをスイッチに取り付けます。

図 10: 拡張レールの取り付け

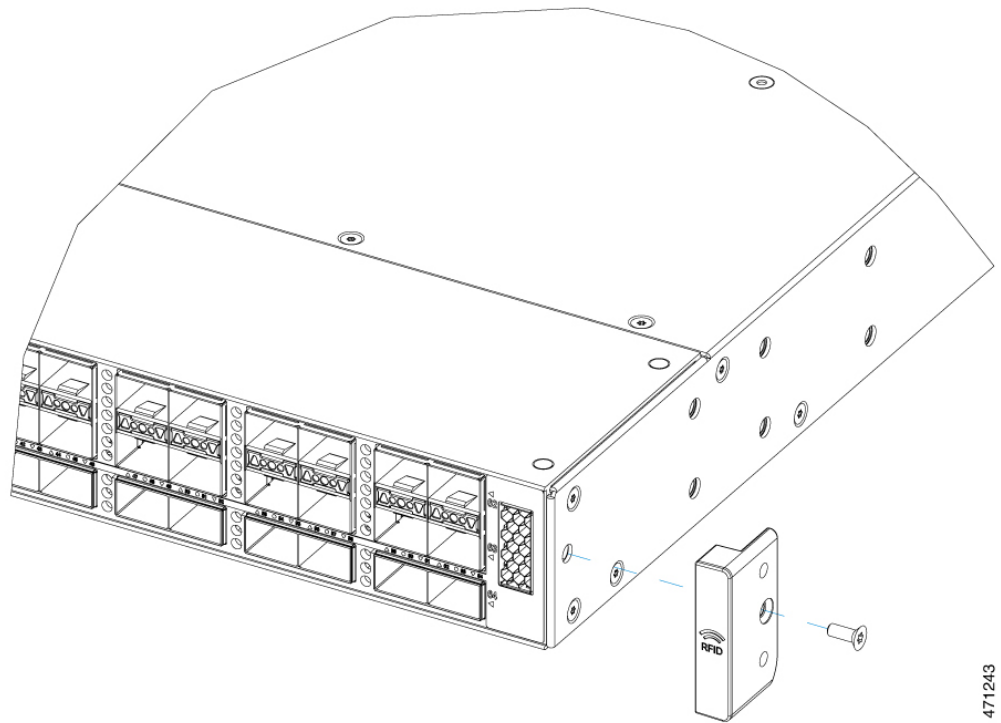
6本のネジを使用して、スイッチの片側に延長レールを取り付けます。



471242

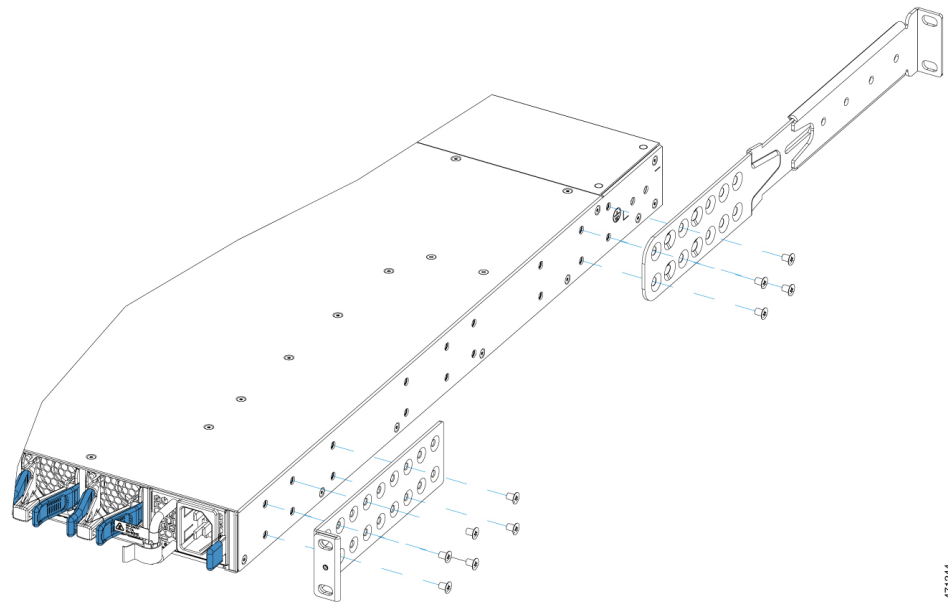
b) スイッチポートがコールドアイルから離れた位置にある場合（背面から前面へのエアフロー）：

1. まず、図のように RFID を分解します。



471243

2. 小ネジを使用して、ブラケットと拡張レールをスイッチに取り付けます。



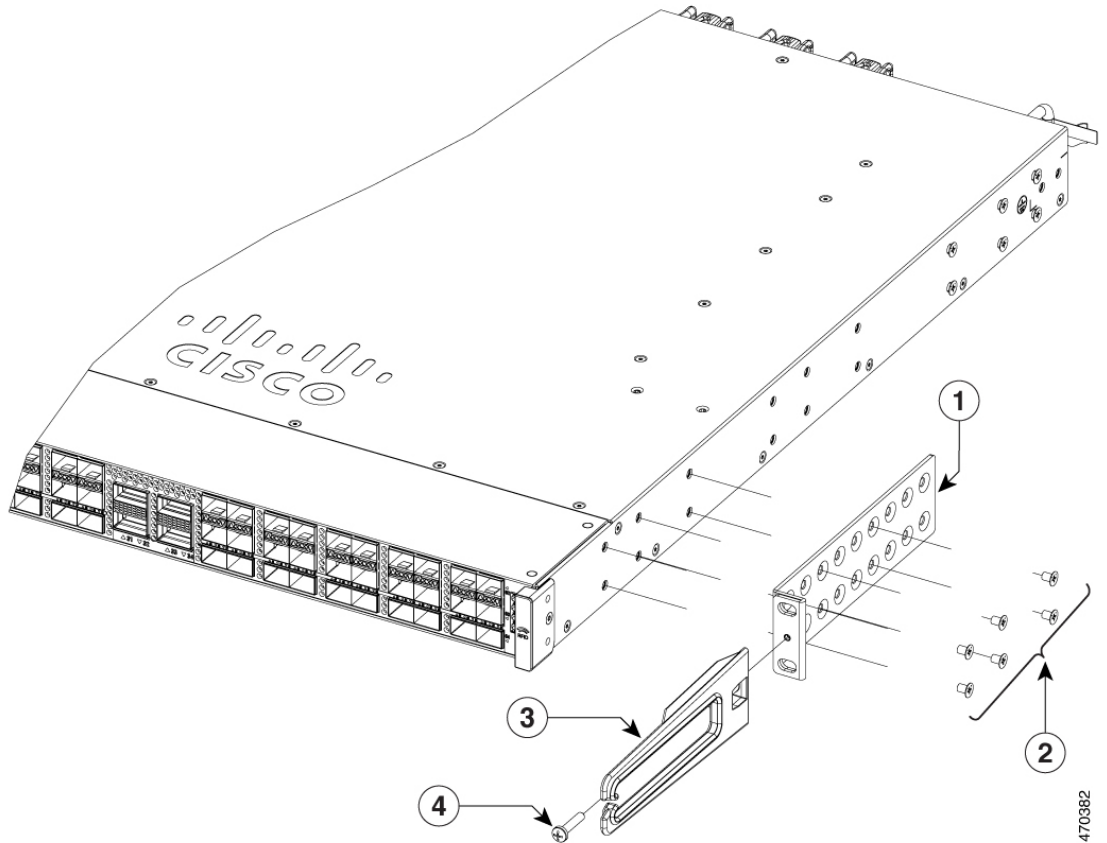
471244

ラックへのスイッチの取り付け

手順

ステップ1 黒の小ネジを使用して、左右いずれかのブラケットにケーブルガイドを取り付けます。

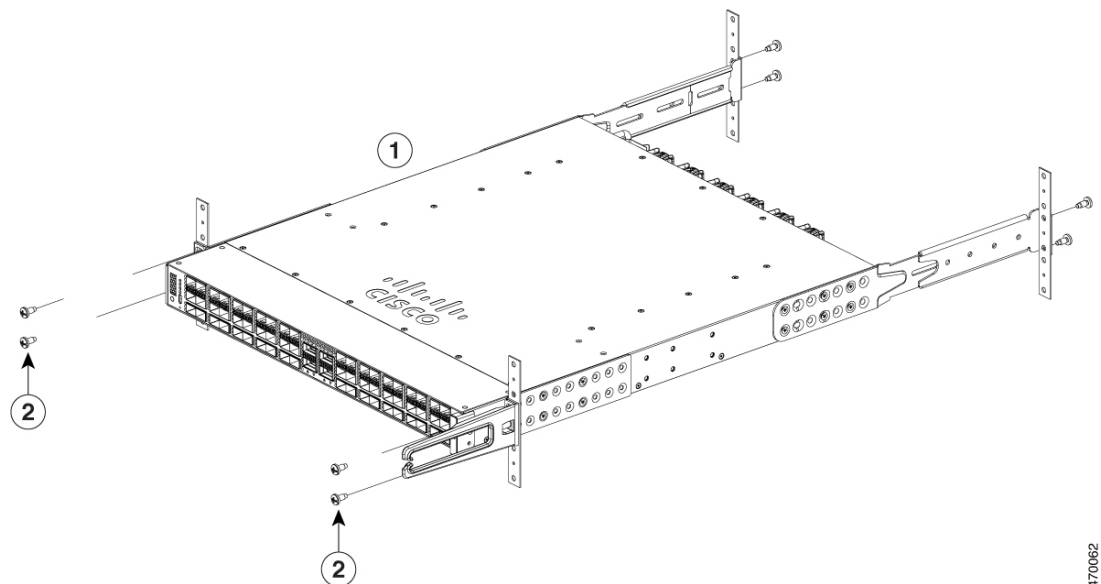
図 11: ケーブルガイドの取り付け



1	19 インチ ブラケット	3	ケーブル ガイド
2	プラス小ネジ	4	M4 x 20mm プラスなベネジ (黒色)

ステップ2 アクセサリキットに付属の No.12 または No.10 のプラス小ネジを使用して、スイッチをラックレールに固定します。

図 12: ラックへのスイッチの取り付け



1	Cisco Catalyst 9500X シリーズ スイッチの前面取り付け位置	2	No. 12 または No. 10 の小ネジ
---	--	---	------------------------

4770062

スイッチの取り付け後の作業

- Web ユーザーインターフェイスを使用したスイッチの設定詳細については、『*Software Configuration Guide*』の「Configuring the Switch Using the Web User Interface」トピックを参照してください。
- 必要なデバイスをスイッチポートに接続します。
- 電源装置のスイッチをオンにして、システムに電力を供給します。電源投入の間に、スイッチは一連のブートアップ診断テストを実行します。



(注) スイッチは、隣接デバイスが完全な動作状態にある場合、30分以内に起動するように設計されています。

- デバイスをスイッチポートに接続した後、ポートの接続を確認します。スイッチと接続先装置がリンクを確立すると、LED はグリーンに点灯します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。